

CASBEE広島 2013年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応)
 (仮称)BPT広島

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2013年追補版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.40			2.6
1 音環境				1.8	0.23		-	1.8
1.1 騒音				3.0	0.40		-	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00		-	
1.2 遮音				1.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能							-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	
1.3 吸音				1.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.3	0.44		-	2.3
2.1 室温制御				3.6	0.50		-	
1 室温		冬期22°C、夏期26°Cの室温を実現するための設備容量を確保		4.0	0.50		-	
3 外皮性能		窓: Sc=0.48、U=4.15/外壁: U=0.604/屋根U=0.391		4.0	0.17		-	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.33		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				1.0	0.30		-	
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
2 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境				3.7	0.33		-	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆☆建材を全面的に採用		4.0	1.00		-	
4.2 換気				3.0	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.50		-	
2 自然換気性能				3.0	0.50		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50		-	
4.3 運用管理				4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		天井裏まで区画された喫煙ブースを設置し、負圧(第三種換気)に保つ事で非喫煙者が煙に曝されないような配慮		5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能					0.30			3.3
1 機能性				3.6	0.40		-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性							-	
2 高度情報通信設備対応							-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30		-	
1 広さ感・景観							-	
2 リフレッシュスペース							-	
3 内装計画		4項目に該当(建物全体のコンセプト/建物機能の明確化/照明計画と内装計画を一体として計画/インテリアパースによる事前検証)		5.0	1.00		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.31		-	3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.48		-	
1 耐震性				3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		サイディング(耐用年数25年)		4.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23		-	

2.4 信頼性			3.4	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電設備を設置／電源設備・精密機械の地下空間への設置を回避	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	通信手段の多様化(光ケーブル、メタルケーブル)／精密機械の地下空間への設置を回避	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.3	0.29			3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31			
1	階高のゆとり						
2	空間の形状・自由さ	0.1 ≤ [壁長さ比率=0.233] < 0.3	4.0	1.00			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		II 1) 歩道状空地を設ける事で地域の活動上のアメニティ向上に貢献 III 1) 中庭の設置により風や光が通り抜ける開放的な空間を確保 IV 1) 歩道状空地、ネットフェンスの設置により防犯性に配慮 V 1) 植栽、建物の維持管理を従業員が行う計画	4.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.5
LR1 エネルギー			-	0.40			3.7
1 建物の熱負荷抑制		断熱材の強化、日除けによる建物の熱負荷抑制	3.8	0.30			3.8
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20			3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	自然採光システム(トップライト、ハイサイドライト)	4.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		LED照明の採用	4.0	0.30			4.0
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	#VALUE!				
		集合住宅の評価					
4 効率的運用			3.5	0.20			3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	運用、維持、保全の基本方針を計画(他店舗同様)	4.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.5
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	自動水栓、節水コマに加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63			3.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	タイル(外構床仕上げ)、点字紙、防水パン(3階衣裳事務所内洗濯機パン)	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+LGS+仕上げ材により容易に分別可能	4.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22			3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン発泡断熱材の採用	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して78%	3.8	0.33			3.8
2 地域環境への配慮			3.2	0.33			3.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	代替交通手段(最寄り駅から送迎バスの運行)を確保／適切な量の駐車スペースの確保(市と協議)／荷捌き用車両の駐車施設の確保／複数の導入路を交差点から離れた位置に設置	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの分別回収が可能なストックスペース、分別回収容器の設置など	5.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たし、広告物照明なし	5.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			